

AMY アイザイム				366000	
				担当部署	
AMY アイ				一般	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項			特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		マクロアミラーゼ血症では、アミラーゼの免疫複合体形成により血中アミラーゼ上昇、尿中アミラーゼ減少がみられる。 腓刺激ホルモンや、ステロイドの大量投与は P-AMY を上昇させる。また長期間の大量飲酒は P-AMY と S-AMY いずれも上昇させる。			
検査受付時間		8 : 15～16 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項			該当なし		
検体採取の特別なタイミング			特記事項なし		
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	他材料				
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件			室温		
検体受入不可基準			1) 採取容器違いの検体 2) バーコードラベルの貼られていない検体 3) 量不足 4) 粘性のある検体		
保管検体の保存期間			2℃から 8℃冷蔵保存 14 日（追加検査については検査室に要問合せ）		

検査結果・報告					
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		1～7 日			
生物学的基準範囲		血清 P 15.7～64.0% 血清 S 36.0～84.3% EX 一般 217 : クイックジェル AMY 試薬			
臨床判断値		該当なし			
基準値				単位	%
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	該当なし			
	低値	該当なし			
生理的変動要因		特記事項なし			
臨床的意義		血中、尿中その他のほかの体液中のアミラーゼ活性の上昇は、膵臓疾患以外にもみられる場合がかなりあり、その由来臓器の鑑別にアイソザイム分析が有用である。体液中のアミラーゼは、電気泳動による分離と酵素染色によって、プレ γ 位に移動し唾液アミラーゼの主成分と同じ移動度をもつ活性帯、ファースト γ 位に移動し、膵液アミラーゼの主成分と同じ移動の活性帯に分離されるが、これらの活性帯の由来臓器が各疾患や病態で明確に決定できない場合があるので、前者を S 型、後者を P 型とした。これらのほかに S, P それぞれのサブバンドがみられる場合がある。			